



# あゆみ

No. 169

令和 5年 1月16日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 茗山寮・第二茗山寮  
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090

E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp

社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>

施設の旬の話題を「レイザンTOP.I.X」にて更新中です。



## 謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました  
本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和五年 一月

「もう一步」を大切に

施設長 鮎田 一夫

新年明けましておめでとうござい  
す。今年は大変お世話になりました。ウクライナ紛争、新  
型コロナの蔓延等、嬉しくないニュー  
スを抱えたまま迎えた新年ですが「明  
けない夜はない」という気持ちを持  
ち続けて、今年も一歩一歩進んでい  
きたいものです。

施設では年が明けると次年度の準  
備が始まります。次年度の目標の設  
定、サービス計画書、マニュアル等  
の見直し、個別支援計画の評価と次  
年度の計画策定等、あつという間に  
三ヶ月が過ぎていくのが常です。し  
かもそれを通常の業務を行いな  
がら進めていかなければなりません。私  
がこの時期懸念するのは、準備業務  
にエネルギーを取られて利用者さん  
への日々の支援がおろそかになら  
ないかということです。それでは本末  
転倒です。今年度は「もう一步の関  
わり」を重点目標に掲げ、それぞれ

の場所での「もう一步」を実践してき  
ました。それが最後の三ヶ月で後退し  
ないことを願っています。

今年度四月から朝礼の時、利用者さ  
んのトピックスを発表して貰っていま  
す。支援員以外の職員も順番が回って  
きます。その発表が意外と面白いので  
す。職員とマンツーマンの時見せてく  
れる利用者さんのまた違った一面。考  
えさせられることもしばしばです。ま  
た職員一人ひとりが日常利用者さんと  
どう関わっているのか、どのような視  
点を持っているのか等も発表から垣間  
見ることが出来ます。朝の短い時間  
ですが、利用者さんと濃密な時間を持  
てなければこの発表はできません。  
これも「もう一步」になるのではない  
でしょうか。支援に大それたことは要  
りません。毎日小さなことを地道に続  
けていくこと、利用者さんにちゃんと  
向き合うこと、その大切なことを職員  
が残り三ヶ月も続けてくれることを願  
っています。

## サービスの現場より



『利用者の方が作る朝礼』  
第二茶山寮支援課長 瀬崎 哲也

現在、コロナ禍の影響で第二単独での朝礼を毎朝行っています。司会進行の係は女性利用者のMさん、日付の確認から始まり、その日の天気を発表。その後の日中活動の説明はIさんへバトンタッチ。大きいホワイトボードに予め写真を貼り、各班の活動内容を詳しく流暢に説明されます。それが終わると、今度は給食委員会のUさんからの献立の説明と進んでいきます。魚メイさんのメニューの説明があると、顔をしかめ、あからさまに魚嫌いが顔に出る司会のMさん、これも毎度おなじみの光景で周りがワツと笑い声に包まれます。その後は不定期ながらもSさんからのSニュースの発表があります。Sさんは地方のニュースからグローバルな内容まで話せるとても博識な方で、月一回程度のペースだったのが、回を重ねることで、最近は多いときには週に三回発表されることもあります。

年度当初から始めた取り組みですが、その中でも手順の一つ一つに繰り返し説明を要していたIさん。今でこそ自信がみなぎり流暢に話せますが、緊張で思うように話せず半べそ顔になっていた頃を思い出します。毎朝職員室にある週計画を自ら手に取り、悪戦苦闘する様子は真剣そのもので、とても頼もしく感じています。

今後、利用者の方の意思や主体性を更に引き出せるようサポートしながら、日々応援していきたいと思えます。



『担当利用者さんへの取り組み』  
茶山寮支援課長補佐 吉鶴 かつお

今年度より担当させて頂いているMさんは、日々不安定な状態で過ごされることが多くある為、少しでも安定出来るように笑顔をどれだけ出せるのか、又、口腔ケアを中々受け入れる事が苦手な所も見られ、誤嚥性肺炎の予防として口腔ケアの充実を図る為に支援に取り組んでいます。

安定出来る様に、日々の関わりの中で側に寄り添い言動を受け入れ、二人だけの空間を好まれた為二人で過ごす時には歌ったり、踊ったりすることで顔を真っ赤にして笑ってくることが多く見られる様になりました。関わりを大切にしていくなかで他の支援にも生かす事が出来る様になった部分もあり、その一つが口腔ケアです。四月初旬、自分で口腔内を撫でる様に磨く事は出来ていても、その後の仕上げ磨きの受け入れは、七十%程拒否をされてきました。しかし関わる事で笑顔が増え七十%程仕上げ磨きを受け入れる事が出来るようになりました。又、訪問歯科での診察も全く出来ませんでした。九月以降診察を受ける事が出来るようになりました。まだ不安定な事もあり充分とは言えませんが、何らかの変化があったと実感しています。今後も寄り添う事で安心感を伝え、楽しく過ごす事が出来るように取り組んでいきたいと思えます。



『担当利用者さんへの取り組み』  
第二茶山寮支援員 若田 香

私が担当させて頂いているWさんは明るい笑顔が印象的で、職員にも気さくに声を掛けて下さいます。行事が大好きで日々の活動にも一生懸命に取り組まれる反面、休日は居眠りをされている姿が多く見られます。余暇の充実を図り、楽しみの一つとなるよう、おしゃれをして過ごして貰う事を提案し、他女性利用者の方も交え、週毎にマニキュアやネックレス等のアクセサリーを付けて頂いたり、ワイドパンツ等、普段と違った服装で過ごして頂く事で華やかな気分を味わって頂けるよう女性職員で協力し合って支援を行っています。Wさんもおしゃれをする表情が明るくなり、とても生き生きとしておられます。皆さんから次々に「かわいい。」と声を掛けられ、照れくさそうにしながらも、嬉しそうな笑顔を見せて下さいます。普段の服装にも気を配られるようになられ「今日の洋服、これでよかかね？」と尋ねてこられる事もあります。

今後はブレスレット等、アクセサリーを作りしてみたいと張り切っておられます。興味がある事にどんどんチャレンジして頂き、笑顔多く充実した生活を送って頂けるよう今後もサポートをしていきたいと思えます。



『DWAAT研修会に参加して』  
第二苓山寮支援員 鶴田 浩隆

十一月十五日、熊本DWAAT（災害派遣福祉チーム）研修会に参加させて頂きました。まず、全国のDWAATの支援活動の取組みについて説明があり、具体的な活動内容としては、熱海で発生した土石流災害時、ホテル避難者の各部屋を回ってニーズの聴き取りをしたり、避難者を元の施設に移送したりする活動を行ったとの事でした。その後は熊本におけるDWAATの活動について講義があり、熊本豪雨災害において、福祉避難所を立ち上げた他、各施設へ物資の運送手配を行っていたとの話がありました。

今回の研修において、私が一番印象に残った内容は、『有事の際に必ず意識しなければならぬこと』です。有事の際には、利用者だけの安全ではなく、まずは職員も自身の安全を確保しなければならぬとの事でした。当施設においてもBCPなど災害を想定した訓練を年に何度か実施しています。その際に利用者だけではなく、自分、又、他職員の安全については考えが及んでいませんでした。今後は、利用者と自身の安全をどう確保するのか、安全に災害対応をするためにはどのように動くべきなのか、ということを考えながら訓練に臨みたいと思います。



『不審者対応訓練』  
苓山寮支援員 山下 鉄兵

今回初めて天草警察署と連携し、生活安全課の酒井様に不審者への対応についてご講話頂きました。不審者と言っても一概に言えず、例えば泥酔している人や施設に不満や恨みを持つている人等様々で、ケース毎に対応が変わってくるとの事です。対応する際に最も重要な事は施設内に侵入させない事、まずは不審な人物が施設周辺にいた場合「あの人がおかしい」等と気付く事です。その場合は声掛けに行き簡単な挨拶や「何かお困りでしたか」等の声掛けを行う事で抑止に繋がるとの事でした。又、声掛けに行く際には施設内の職員に予め周知してから向かう事で利用者の安全を守る対応を行う事も大切です。そして声を掛ける時は竹箒等を所持し、いざという時の為に身を守る様にしたり、相手がポケット等に手を入れている場合は注意をする事を学びました。また施設の出入り口付近にカラーコーン等の設置を行うだけでも抑止力に繋がるとの事でした。もし施設内に侵入を許した場合は刺股を使用するのも一つの手段ですが、取り押さえる事はかなり難しく、消火器の活用が実用的であるとの事でした。また不審者を取り押さえるのではなく追い払い警察が到着するまで利用者の生命を守る事が重要との事でした。



『介護予防研修会』  
苓山寮支援員 中本 慎也

十二月十六日熊本県知的障がい者施設協会が主催した「障がいのある方々への介護予防について」という研修に参加させて頂きました。

研修の内容は、健康づくりや体のしくみ、中高齢者の方々の身体特性、介護予防についての講話。その後、複数に分かれてのグループ討議でした。介護予防を行うためには、健康づくりに必要である運動・栄養・休養の要素を考えるとのことでした。これは支援・医務・給食の各セクションが連携し、利用者の方にあつた支援を行っていくことで携わることができると思います。また、体の仕組みを知り、支援に繋がっていくことが大事だということでした。中高齢者の方の身体特性として、筋力低下による姿勢の悪化やバランス能力の低下による、前後左右の揺れ、回旋が弱くなっていくということで、機能維持のために複合運動を取り入れることが大事とのことでした。まずは、一人ひとりの状態や特性を把握し、何が一番合っているのか、ベストなのかを日々考え議論し、最適な支援を提供することが僕たちの仕事なんだと改めて学びました。

# クリスマス会

苓山寮・第二苓山寮それぞれの施設で行いました。苓山寮では全員がサンタクロースに扮しての参加。毎年恒例のキャンドルサービスの後は、職員自作の大きな紙芝居やクリスマスダンスを披露し、皆さんの飛び入り参加で盛り上がりました。

第二苓山寮ではサンタ帽を被った皆さんでジングルベルを合唱し練習の成果を発揮できました。仮装カラオケ大会には職員による郷ひろみさんもゲストで登場しました。最後はどちらの施設も勿論サンタさんからメッセージ付きのプレゼント。プレゼントを手にした皆さんの輝く笑顔を見れたクリスマスでした。



全員サンタ



飛び入りダンス



サンタさんからの  
プレゼント



キャンドル  
サービス



ジングルベル♪



ひろみ郷?

# 餅つき

年末の風物詩の一つ餅つき。12月に入ると「餅つきはいつね?」「餅食べんば」と皆さん待ち遠しい様子でした。

当日は、寒い中でしたが皆さん「餅ばつく」と笑顔で外に出てこられ、職員の「よいしょー」「それー」の掛け声と共に杵を大きく振りかぶり餅を楽しそうにつかれる方、「私の写真撮って!」と写真撮影を楽しまれた方、「まだ餅食べないの?」と食べるのを楽しみにされる方、皆さんそれぞれの楽しみ方で楽しんでいました。皆さんのパワーが溢れ、私たちの方がギブアップ寸前のとても楽しい餅つきになりました。



# 鬼火焚き

一月十二日(木)

正月飾りで使用した竹等が勢いよく燃える炎にあたりながら、一年の無病息災を祈りました。午後からは神社から頂いた鏡餅を、砂糖醤油やきな粉等好きな味付けで食べられ皆さん喜ばれていました。

残り火で鏡餅を焼いて食べれば、その1年間健康などの言い伝えもあり、みなさんで頂きました。

## 【初詣】

元日、施設近くにある十五社宮へ初詣に行きました。新型コロナ感染防止の為外出は控えています。少人数で人混みを避け、神様に一年の感謝、新年の無事と平安を祈願してきました。「コロナが終わりますようにとお願ひしてきた」「健康でありますようにとお願ひしてきた」等と思ひ思ひの願ひをされたようでした。新しい年が皆さんにとって幸多き年となりますよう、職員全体で支援に努めていきたいと思ひます。



## 【お祝い】

茶山寮事務員、萱野豪さんに第二子（長女）誕生です。お名前は「季歩」きほちゃんだそうです。新しいご家族を迎えられ幸せいっぱいのことと思ひます。おめでとーございませう。



## 寄贈

天草本渡ライオンズクラブ様より、簡易テントを頂きました。利用者の皆さんと大切に使用させていただきます。



ありがとうございます。

## 【お悔やみ】 岡部 亮一さん

平成四年から三十年あまり茶山寮で過ごされました。心よりご冥福をお祈りいたします。



## 日常生活の風景

### 堤 佳子さん



七三歳とご高齢ですがとてもチャームिंगな佳子さんです。担当させて頂いて二年目になります。初めは挨拶をしても返事を返して下さる事はありませんでした。先ずは顔と声を覚えて頂くと思ひ、できる限りコミュニケーションをとり「おはようございます佳子さん。」と毎日名前を呼びかけました。暫くすると「あんたね、可愛いかね。」と笑顔で答えて下さり「佳子さんの方が可愛いですよ。」と返事をする嬉しうに微笑まれたり、私が歌うと一緒に「おてもやん」を上手に歌われます。とても笑顔が素敵で優しい方です。

### 小嶋 稔宏さん



責任感が強く人の役に立つ事が大好きな方です。毎月職員宅を回り、空き缶回収をして下さいます。又、食事が終わった後の掃除道具の準備と、その後片付けに至るまで責任を持って下さいます。最近では、折り紙を使って物を作る事に興味を持たれ、朝顔や秋桜、クリスマスツリー等を作り、嬉しうに他の利用者さんに見せて回っておられました。障がい者芸術展に出展する事が自分の夢だそうです。小嶋さんの夢が叶うよう支援していこうと思ひます。

## 行事予定

### 一月

二三日 チャレンジ50

二四日 管内研修

二七日 亀川小学校福祉説明会

### 二月

三日 豆まき

七日 管内買物

二十日 チャレンジ50

二四日 亀川小学校校駒打ち体験

### 三月

三日 ひな祭り交流会

一三日 さくらの会

二四日 花見会

二七日 チャレンジ50

## 編集後記

明けましておめでとーございます。毎年感じますが、あつという間に一年が過ぎてしまします。皆様はどんな一年でしたか。

さて、昨年末の施設最後のイベントは餅つきでした。利用者の方々も一生懸命餅をついて一年を締めくくりました。毎年、私の実家でも餅つきを行っていますが物心ついた時から機械の為、杵と臼で行う茶山寮での餅つきは利用者の皆様と一緒に楽しみの一つになっています。つきたての餅を私はきなこ粉で頂き、気付けば三、四つペロリ。怖くて体重計にまだ乗ることが出来ていませんが焦ることなく、利用者の皆さんと一緒に体を動かして、一年掛けて痩せたいと思ひます。

本年も皆様にとつて良い一年になりますようお祈り申し上げます。

